



19940214
 総 8 号
 発行 桂坂合会
 自治連委
 広報

つくりょう 防災に強い町 広げよう 防災の輪

桂坂学区に防災の「核」

2月27日 式 結 成
 於桂坂小

対岸の「地震」

一月一七日、ロサンゼルス郊外で起きた大地震の生々しい映像は、テレビを通して目に鮮やかに伝えられました。道路から噴き出す水に火柱。住宅を焼き尽くしてなお衰えぬ火勢。人口過密の車社会を襲った地震は、偶たまその日がキング牧師追悼の休日に当り、しかも未明であつて人の活動・移動の前であつたために被害も少なくてすんだといわれています。もし

平日の昼であつたらば、家庭ではガスの使用中、また縦横に走る高速道路など基幹道路は車を満載していたはずで、

不時の災害は、近代都市であつても容赦しません。私たちにとつても「対岸の火事」ではないわけです。

自主防災の「核」

来る二月二十七日、結成式を迎える桂坂・自主防災会は、自治連合会と各種団体の連携によって組織される

「核」は必要です。

提供するにもやはり私たちの「核」は必要です。

ご挨拶

桂坂自治連合会長 菊池 潤治

にむけ着々と体制が整いつつあります。女性の社会的地位向上のため、親睦、奉仕活動等、自主的な団結により地域の発展に寄与するとの主旨によるものです。どうぞ、ご理解を賜わり、積極的にご入会していただきたいと存じます。

桂坂学区に防災の「核」

二月二十七日(日)の結成式には多くの来賓をお迎えし、大枝中学校プラザバン

身近な火災や震災がこれに重なって起きた場合などを想定すると、幹線道路はもろろん生活道路の「除雪作業」さえ「防災」上疎かにできません。ある自治会では役員さんが出て、町内の交差点などの除雪作業をされたそうです。私たちが「自主防災」の視点からこの「雪」を考えねばならぬのでしようが、行政にもまた「多雪地帯」同様の除雪対策、土木事務所にラッセル車を常置するなどの対策を講じてもらう必要がありそうです。

新しい息吹を、と期待しております。

終わりに、先般の広報紙第七号からスタイル、記事の内容等が充実したと多くの方から賛辞をいただきました。自治会活動を推進しました。自治会活動を推進していく上で、住民の方々に、先ずは現状を認識していただき、ご協力を賜わる事が何より肝要のことと、広報紙の充実を目指しております。桂坂の発展のために、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

空ビンの分別回収に

ご協力ください

二月末より、空ビンの分別回収が実施されます。対象となるのは、食品と飲料の空ビン。「空き缶分別回収の日」に一緒に分け出すこととなります。

回収された空ビンは？
 横大路学園(授産施設)に運ばれ、園生の手で、ピンは無色、茶色、その他の色の三種類に分けられ、また空き缶は、スチール缶とアルミ缶に分けてプレス加工され、それぞれ再資源化の道をたどります。

この空ビンの分別回収は「環境を思いやる暮らしづくり」の一環として、地域のゴミの減量化・リサイクル、そして環境美化を図ると長谷工コーポレーションとの採めごとが相次ぎました。こんな採めごとが治つてからです、自治会に關心をもちましたのは。

「しらかば」命名のいわれも存じません。六期目ですが、創生期の皆様方のご苦勞も、歴史にも詳しくありません。

今期、運営に携り十ヶ月になりました。右往左往の連続でした。そして、ようやく、自治会の姿が、朧げ

桂坂郵便局

三月三日 開局

桂坂センターの一角に白い建物が姿を現しました。郵便局です。

これまで特殊取扱いの郵便物などは洛西ニュータウンまで足を運ばねばならなかったのですから、朗報です。

今一つ、工事中のものは京都中央信用金庫・桂坂支店。四月開店の予定です。

花鳥風月、空気清浄、展望絶佳、閑静で陽光燦爛、こんな桂坂を夢想してまいりました。

強い西風は嫌いでした。木枯には電線が泣いていました。ドカ雪にもあいました。こんなビツクリの連続で、入居当初は自治会を意識したことはありません。「まことに済みません」

その上「住環境を守る会と労住協」

「北側住民(十班)」

と長谷工コーポレーションとの採めごとが相次ぎました。こんな採めごとが治つてからです、自治会に關心をもちましたのは。

「しらかば」命名のいわれも存じません。六期目ですが、創生期の皆様方のご苦勞も、歴史にも詳しくありません。

今期、運営に携り十ヶ月になりました。右往左往の連続でした。そして、ようやく、自治会の姿が、朧げ

吉野 孝

私は皆様は担がれてとても心地よい御興に乗っております。その上、前役員、次年度役員予定の皆様方に助けられています。

自治会運営は「仲良く、楽しく、和やかに、遊び心で」と心掛けております。これが「しらかば自治会」であります。任期は残り僅かとなりました。そろそろ試行錯誤から脱出して、素晴らしい仲間皆様方と一緒に、よりよい「しらかば自治会」を次年度に引き継ぐため、もう一踏ん張りします。

みんなであつて、みんなの福祉
あなたも「賛助△役員」に

桂坂社会福祉協議会会長 湯浅 忍

桂坂に社会福祉協議会が発足して三年になります。社会福祉協議会(社協)とはどんな活動をする団体なのでしょうか。

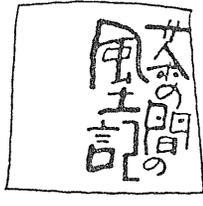
「社協」とは、住みなれた街で、ともすると弱い立場にある人たちが、よりよく暮らし続けることのできる地域づくりを目指して、さまざまなふれあい活動や在宅福祉サービス、ボランティアの育成などを行う、法律で定められた民間の福祉団体です。

「社協」と共催 新年茶会△△△

桂坂民生・児童委員総務 酒井 厚

昨年夏のアンケート調査にご登録頂きました高齢者(七十歳以上)の方等を対象に、福祉活動の一つとして、

ある西京区「社協」が昨年六月に法人認可を受けましたが、それを機に、福祉の諸活動を強力に進めるために、「みんなであつて、みんなの福祉」を合言葉に、「社協」の賛助会員を募ることにいたしました。



大枝 今は昔 (2)

元大枝自治会長・田原正夫さんのお話は、桂坂の造成工事に入ります。

桂坂は、緩やかな丘を削り、谷を埋めて造られた街です。現在、西友桂坂店のあたりも、当時は「百日谷」と呼ばれる谷でした。元としては当然、雨水による土砂くずれ、田畑への被害を心配しました。西武都市開発とも十分話し合い、

万が一、被害の出た時のためにと農協に積立てもしました。しかし、その心配も杞憂に終わりました。というのも、自然の地形や流れを活かした造成が行われたからです。

安全対策はきちんとされてきましたね。このように地元の方々の見守る中、造成工事は着々と進んでいきました。

桂坂は、緩やかな丘を削り、谷を埋めて造られた街です。それを薄く地面に敷き、その上を重機が何度も往復しました。それはもう地面が固くしまつて、これなら地崩れなど心配ないと思いついたよ。大きな岩盤につきあたり、火薬を使ったこともありました。その時も「へ」と話は進みます。

したが、約五十名の方が参加されました。菊池桂坂学区自治連合会長等の祝辞の後、食事をしながら日本舞踊、歌謡曲公演を楽しみ、簡単なレクリエーションゲーム等で有意義なひとときを過ごして頂きました。

卓球△△△

桂坂体育振興会

二月六日(日)、桂坂体育振興会の主催する卓球大会が桂坂小学校の体育館で開催されました。三回目となった今回の大会には、七自治会約四十名の方が参加されました。

主催する「第四回 親子のふれあい教室」が桂坂小学校体育館で開催されました。年々参加者が増え、今年約二五〇名の方が長さ約四〇センチのグライダー作り挑戦。自分の子供の頃を懐かしみながら、グライダーを作るお父さんを熱心に子供さんが見ているというシーンもあり、会場は終始和やかな雰囲気につつま

授産園



前回紹介しました療護園の山田参事の案内で授産園を訪ね、鈴木雅巳園長にお話を伺いました。

授産園は、知的障害を持つ方が社会人としての自立を目指す、働く喜びを知るための仕事場です。現在五十名の方が、箱作り、織り物、陶芸、クリーニングなどの作業をしています。

陶芸や織り物の作品などは、洛西エミナースのセンターコートで年に数回、販売されます。ぜひ立ち寄ってください。

また、小学校や老人クラブの陶芸教室などの指導もしていただけるそうです。地域の方とも交流していただける施設にしたいという鈴木園を後にしました。

園生の方の作られた茶碗で心まで暖まり、園内を見学させていただきました。クリーニングの作業場では機械の大きさにびっくり。更生園や療護園のシーツなどの他、ホテルやJRからの仕事も引受けています。

園生の方からは「毎日の仕事楽しい」という声があり、その楽しさが自信につながるそうです。技術的にも良い物が作れるようになります。工賃の他に僅かですがボーナスも出て大きな励みと喜びになっています。

職員の方々も園生の皆さんも企業への就職を目指し地道な努力を続けています。しかし、就職にはまだ力不足の段階で、今までに企業への就職は、二名です。一人でも多くの方に、社会人として活躍できる場が与えられるようお願いしつつ、園を後にしました。

登録の方のご登録をお待ちしており、これをステップにして次回ももっと喜んで頂けるように努力する積りです。

次回はいよいよ「街づくり」へと話は進みます。